

クラスターテクノロジー株式会社



事業概要	樹脂複合材料・樹脂製品の開発、製造、販売
所在地	大阪府東大阪市渋川町4-5-28
電話番号	06-6726-2711
URL	https://www.cluster-tech.co.jp/
代表者名	安達良紀
設立	1991年(平成3年)
資本金	1240百万円
従業員数	71名(令和7年10月現在)
売上高	1022百万円(令和7年3月期)

(1)経営理念又は代表者メッセージ

わが社の経営理念は『日々新たに社会に役立つ』をモットーに
「一時の利を考えず、社会貢献から生まれる利益を追求する」
「社会を結び、企業を作り、人心を結び、人格を作り、新しい活力を作る」
「利己の心でなく、利他の心で活動する」
を経営理念として社会との結びつきと社会貢献を大切に企業活動を行っています。

また、「クラスターテクノロジー」という社名の由来は、房、分子・原子、小さな集合体を意味する「クラスター」からきています。個別技術から多様な技術の融合へ、あるいは従来の垂直型の組織から多様な特性をもって互いがつながるクラスター状の集団へ。これが当社の目指す企業の姿です。

代表取締役社長 安達良紀

(2)技術・製品(事業)の特長

①技術(事業)内容

当社は樹脂複合材料の技術をコアとした樹脂製品の事業展開を行っています。材料から金型、成形、アセンブリ、品質解析まで一貫した生産体制を保有していることから、設計から生産まで樹脂製品のコーディネーターとして樹脂製品の概念が変わるような提案力でイメージを形に変えていきます。また、弊社基盤技術の融合により樹脂製品をデバイスへと進化させ新たな事業展開にも取り組んでおります。

②技術の用途と機能

③特徴・強み

【マクロ・テクノロジー事業】

エポキシ樹脂をベースに無機充填材・補強材・着色材などを配合した、耐電圧・耐トラッキング・機械的特性にも優れる信頼性の高い絶縁材料であるエポハード®をベースとした事業です。重電業界向けの樹脂絶縁材料、それを用いた配電用の電気絶縁構造物、樹脂成形碍子などの製造販売を行っています。電力会社から1972年に指定部材としての認定を受けて以来、当社の成形碍子は、品質の高さと信頼性を国内トップシェアの地位を維持しています。

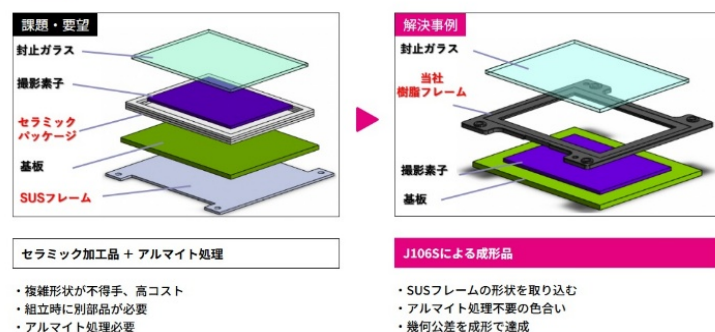


【ナノ/マイクロ・テクノロジー事業】

適材適所の樹脂製品を実現する当社独自のコンパウンドであるエポクラスター®シリーズおよび材料カスタマイズ設計技術をベースとした事業です。耐薬品性、摺動性などの機能性を持ちながら、高い次元での寸法・幾何精度を実現する、射出成形可能な精密成形用機能性コンパウンドです。映像機器・産業機器・OA機器など、あらゆる分野の機能性精密成形品として活躍しています。具体的にはデジタル一眼レフカメラのオートフォーカス用のセンサーホルダー、イメージセンサ周辺部品、インクジェットヘッドのベース部分など、従来は金属やセラミック材質で構成されていた部品を当社樹脂製品に置き換えることで、お客様の更なる商品価値向上に貢献しております。

具体例1: デジタルカメラ用撮像素子への採用例 た商品

イメージセンサ樹脂枠の例【エポクラスター® J106S】



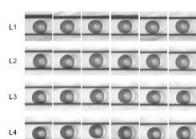
具体例2: 当社バイオマス材料を使用した商品

— PASCOMB (ヘアコーム)

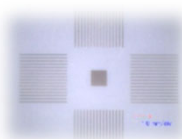


具体例3: 基盤技術の融合により樹脂製品をデバイスへと進化させ新たな事業の事例

インクジェット技術は、微小液滴を高精度かつ非接触で吐出できる特性を活かし、紙への印刷だけでなく、電子デバイスの配線形成、ディスプレイ材料のパターニング、バイオ・医療分野での試薬分注、3D造形材料の積層、機能性材料の局所塗布など幅広い分野で利用されている。デジタル制御による柔軟な加工が可能で、少量多品種や高付加価値製品の製造プロセスに適した技術として注目されている。これらを支える研究開発向けの樹脂製インクジェットPulseInjector®(当社の独自コンパウンドにより樹脂製でより簡便に扱えるインクジェット)



抗原抗体チップ



フィルム回路



レンズ墨塗り

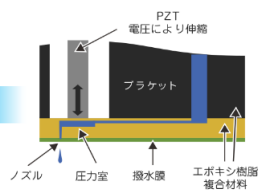
製品



カートリッジを付けたPulseInjector®



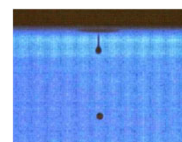
WaveBuilder [PIJD-1SET]



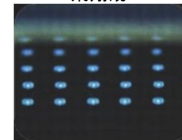
PIJ専用ドライバー



PIJ専用ステージ・システム



飛翔観



着滴観